Vol.56　ハーモニックマイナーを弾きやすくする

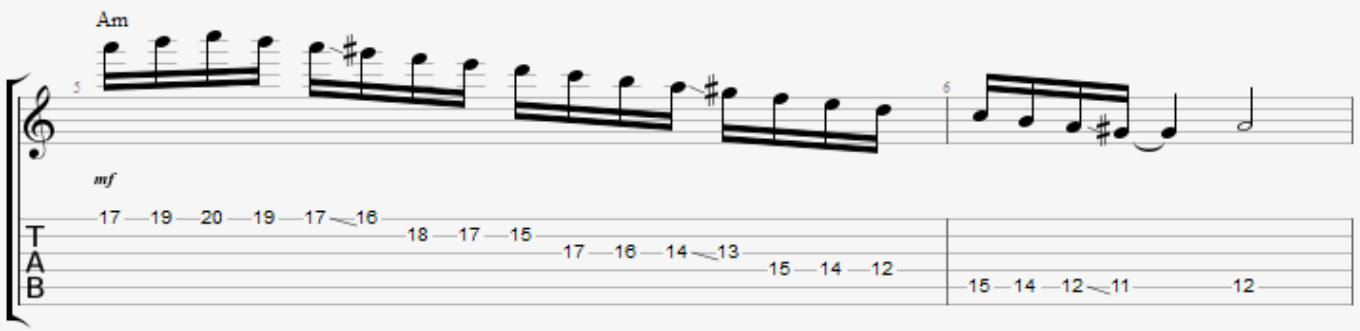
『10 分トレ』vol.56、始めていきましょう。

今回は、タイトルにもある様に、音の配置にクセのあるハーモニックマイナーの、弾きやすいポジションを考えてみよう、と言うお話です。

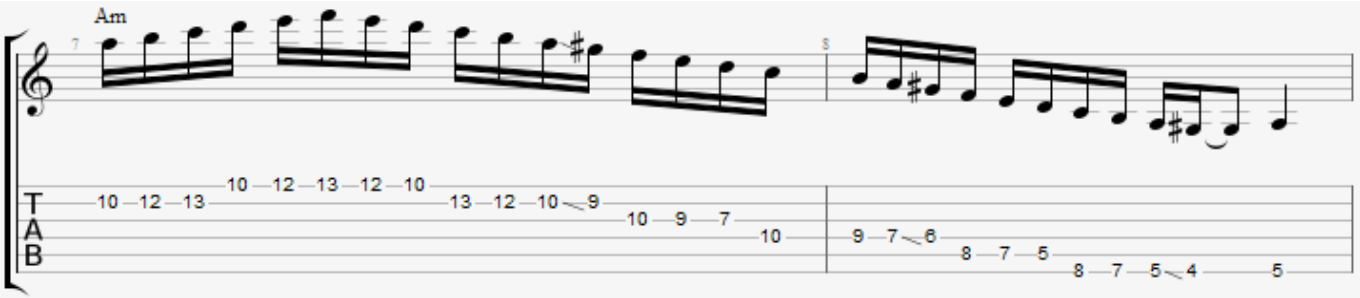
ハーモニックマイナーと言えば、ギターではイングウェイ等が有名ですが、彼らの様に超スピードで弾くのに向いているポジション取りがあるんですね。

いつもの様に、トニックは A 音に設定し、A ハーモニックマイナーで。
早速、譜例を見てみましょうか。

譜例 1、A ハーモニックマイナー 1、3、5 弦トニック



譜例 2、A ハーモニックマイナー 2、4、6 弦トニック



さて、どちらの譜例も、高音弦側からフレーズが始まっていますね。

人差し指を 1 フレット後ろに動かす所は、便宜上スライドの指定を入れていますが、実際はスライドではなく、普通にスッと 1 フレット押さえ変えても構いません。

これは他の教材でも言っている事ですが、スケールは 1 オクターブの塊ごとで見ると、非常にわかりやすくなるモノが多いです。

今回の譜例もご多聞にもれず、そういった視点から構築しています。

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

図 1、A ハーモニックマイナー 1、3、5 弦トニック

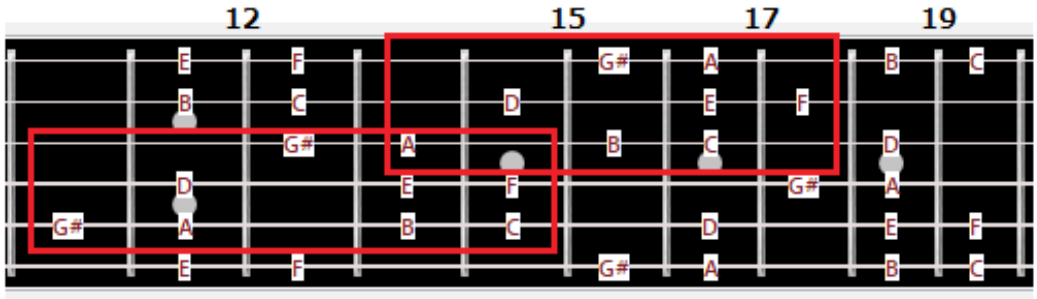


図 2、A ハーモニックマイナー 2、4、6 弦トニック

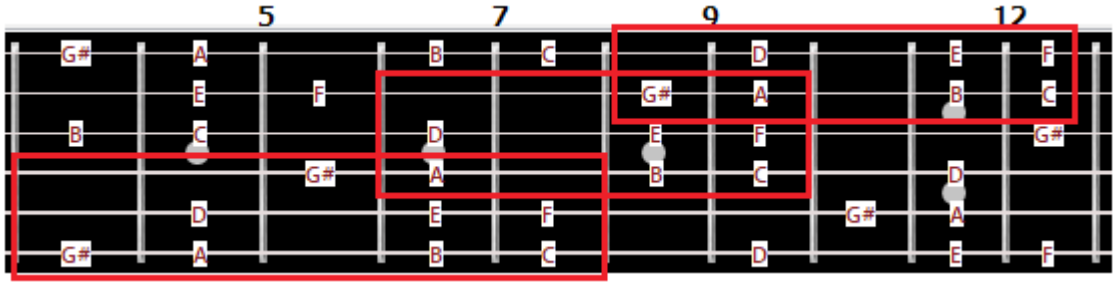


図 2 の方は、チューニングの関係上、どうしても 2〜3 弦間で大きく動く必要がありますが、それ以外はどちらもほぼ同じですね。

フレージングとしては、譜例のストレートな 16 分音符以外にも、3 連や 6 連だったり、一定の箇所を繰り返してみたりと、色々試してみて下さい。

後は、スライドなどを含めると、ここで提示したもの以外にも比較的弾きやすいポジション(音の並び)が出てくるので、そういった観点からフレーズを作ってみても良いですね。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved